

2025 年度

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0601
施設名	きたしば保育園
施設所在地	西東京市芝久保町2-14-14
法人名	社会福祉法人 聡香会

1.活動のテーマ

<テーマ>

子どもの主体性と意志の発達を育む

<テーマの設定理由>

子どもが自分の力で成長し、その力を十分に発揮しながら、自立に向けて自分で考えられるような環境を整えるため。

2.活動スケジュール

2024年 (R6) 4月1日～ 2025年 (R7) 3月31日

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

モンテッソーリ教材・関連する自然物・発達や目的に合わせた教材など

4.探求活動の実践

<活動の内容>

モンテッソーリ教育の環境の中で、子どもは自分のやりたいことを見つけ、考えながら取り組むことで、自分を育てる力を高めていきます。そして、仲間と協力し合い、多様な考えや価値観に触れ、互いの気持ちを尊重し合う中で、小さな社会を築いていきます。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもたちが「ぼくがこっちをやるから、あなたはこっちをやってね」と自然に声をかけ合い、役割分担をしながら協力する姿が印象的でした。自分たちだけでは解決が難しい場面では、しっかりと大人に助けを求めることもできていました。また、年齢を重ねるにつれて、「わからない…」という曖昧な表現から、「ここはこうしたけれど、この部分がどうしてもできない」と、より具体的に自分の状況を伝えられるようになってきたことにも、子どもたちの成長を感じました。

*子どもの活動の様子は別紙参照

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1年を通して毎日活動を重ねる中で、子どもたちの探究心が深まり、さまざまなことに興味を持つようになってきました。その結果、視野が広がり、物事を多角的に捉える姿が印象的でした。見る角度や周囲の会話から新たな気づきを得て、考え方が変化していく様子にも、子どもたちの成長を感じました。

このような子どもたちの変化を振り返ることで、私たち大人も、子どもたちの世界がどれほど広がっているのかに気づかされます。そして、子どもたちに向き合う私たちの視点も、より広い心と視野を持って関わっていくことの大切さを、改めて実感しました。

子どもの主体性と意思の発達を育む

5歳児のピクニックでの心あたたまるひとコマです。

これまでモンテッソーリ教材「葉のダンスとカード」を通して学んできた葉の形や特徴。その学びを、今度は自然の中で実際に確かめてみようとして、子どもたちは落ち葉を一生懸命に集め始めました。

「この葉っぱ、カードのと同じ形だね!」「ギザギザがあるよ!」「こっちはつるんとしてる!」と、目をキラキラさせながら友達と見せ合いっこをする姿がとても印象的でした。自分の気づきを言葉にし、それをお友達と共有しながら、葉っぱの種類ごとに分けていく様子には、これまでの学びがしっかりと根づいていることを感じ、子ども達の成長を感じました。

自然の中だからこそ広がる発見や驚き、そして仲間と一緒に取り組む喜び…。そのすべてが、子どもたちにとってかけがえのない経験になっているのだと、改めて感じた一日でした。





小さな穴にボールを入れたり、輪を通したり、ずり這いしながら、目の前にあるガラガラを取りに行ったりと、体や目や手を使って活動しています。

階段や、斜面を上り下りして、全身を使って活動しています。

鏡をピカピカに磨いてくれています。





円柱が崩れないように、慎重に積み重ねています。



爪の間も、ブラシを使って綺麗にしています。





先生と一緒に、ぬい差しの活動に取り組みました。



鏡を見ながら、鼻をかみ、身だしなみを整えています。



散らかった紙屑をほうきを使って集めています。



活動中に汚れてしまった机は、【机を洗う道具】のブラシを使って、ゴシゴシと糊の汚れを綺麗にしてくれました。



お友達と一緒に寸法あわせのゲームに夢中です！「次、僕はココに入れるね！」「あつた！」などと会話も弾んでいます。



「泡でいっぱいになっちゃうよー！」「水か冷たいねー。」感じたことを口に出しながら、沢山の洗濯をしてくれました。



「お花綺麗だね。」「ママに見せるの」とお話ししながら、お花を活着てくれました。



はさみやお箸・トングなど、指先を使った活動に取り組んでいます。



クラスのお友達の名前を、一生懸命に書いていました。



給食の準備のお手伝い。お友達と一緒に力を合わせて、大きな机を運んでくれます。進行方向を向いている子は、相手の子に、「後ろ気をつけてね。」などの声掛けや気遣いが見られました。



年長のお友達が掛け算の活動を行っている姿をずっと見ていて、ついに、手を伸ばして挑戦してくれました！



おしぼりを絞って、お友達に提供しています。「おしぼりどうぞ。」「ありがとう」などのやり取りを楽しんでしました。



クラスで使った、汚れた台拭きや小布をお洗濯しています。



書いてある数だけ、棒を箱に入れます。お姉さんに見守られながら、棒を一緒に箱に入れていきます。



日本の地方名や都道府県名を一生懸命に覚えようと必死に頑張っています。



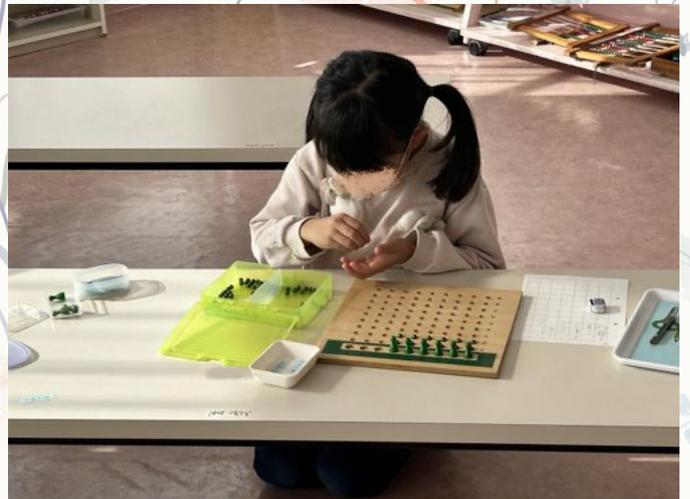
「自分の図鑑を作りたい!!!」自分が調べたことを絵や文章で書き、オリジナルの図鑑を作成しています。



毎日の暮らしの中で目にするマークを覚えました。「このマーク貼ってる車いるね!」など知っているマークを見つけて会話が広がりました。



小さいお友達に、折り紙の折り方を教えてくれました。



割り算の計算を具体物を使って行っています。「こんなにいっぱいあるのに、6人で分けるとすごく少なくなっちゃうんだよ!」と教えてくれます。



子ども達で言葉を作りながら、取り組んでいます。



百人一首に夢中です!
移動五十音の教材を使い、
百人一首の読み札を書いています!

【百人一首大会】

子ども達の中から「百人一首大会をやりたい!」という声が上がりました。しかし、中には百人一首が苦手なお友達もいます。そこで、みんなでどうすれば楽しく参加できるかを話し合いました。

話し合いの中で、苦手なお友達は「札の読み手」として参加することになり、全員がそれぞれの形で大会に関わることができるようになりました。

大会の準備も子ども達で進め、トーナメント表を作成し、対戦相手はあみだくじで決めました。3人一組のチームが5チームでき、1試合につき各チーム20枚の札で対戦します。決勝戦では、100枚の札を使って、真剣勝負を行いました。



右側の写真は、いよいよ迎えた決勝戦の様子です。会場には今までにない緊張感が漂い、対決する子ども達ははもちろん、札を読む子、そして周りで見守る友達までもが真剣な表情に。静かな空気の中、札を取る手の音だけが響きわたり、クラス全体が一つになって熱い戦いを繰り広げていました。